

議事要旨

(中央区の義務教育学校設置に伴う校区調整)

質問	説明
●今回の義務教育学校は、既設の小学校、中学校の校舎、敷地を使うのか。	●開校時は、現在の小学校、中学校の施設を使う。なお、他都市で一体型校舎による運営で良い結果が出ているということもあるので、神戸市としても検討を進めている。
●義務教育学校への通学距離が一番遠い子供で通学時間はどれくらいか。	●約20分である。
●港島小学校、港島中学校への進学率はどれくらいか。	●港島小学校への進学率は92%、港島中学校への進学率は82%である。
●指定外通学の制度があるが、この制度を使って義務教育学校へ行きたいという要望があれば、全市から認めるのか。	●校区を定めており、指定外通学は例外的措置である。
●小中一貫校の校長は、小学校、中学校それぞれの校長が就任するのか。	●学校教育法で学校を代表する者は1名となっている。

(東灘区の既設校における校区調整)

質問	説明
●今回の校区調整は、就学児童がいない区域で将来を見越した変更ということで、この判断でいいと思うが、両校のバランスを考えると、既に就学児童がいる区域の校区変更も検討したのか。	●既に就学児童がいる区域を含めて校区調整することが、学校間の児童数均一化を図る上で一番の解決策と考えているが、学校関係者によると、それぞれの地域特性などがあり校区調整は難しい状況である。しかし、六甲アイランド小学校の児童数は減り、向洋小学校は増えているので、今後も継続的に考えていきたい。